

授業科目 臨床検査総論 II

【担当教員名】 長濱 大輔		対象学年	2	対象学科	臨床
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○			
【概要・一般目標：G10】 一般臨床検査の各検査法の臨床的意義、原理、注意事項などを主に学ぶ。これより、臨床検査診断における一般臨床検査データの評価ができるように努める。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 尿中成分の検査法について説明できる。 2. 尿沈渣の検査法や鑑別法について説明できる。 3. 糞便潜血反応検査とその検査上の注意点について説明できる。 4. 脳脊髄液検査の臨床的意義と検査方法について説明できる。 5. 穿刺液検査の臨床的意義と検査方法について説明できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	腎機能検査			1	講義
2	尿沈渣検査の臨床的意義と標本作製法			2	講義
3	尿沈渣成分の分類と表現方法、観察の仕方			2	講義
4	尿沈渣の有機成分			2	講義
5	尿沈渣の無機成分			2	講義
6	尿沈渣のその他の成分（細菌、真菌など）			2	講義
7	細菌尿の検査（1）			3	講義
8	細菌尿の検査（2）			3	講義
9	糞便の検査（1）			4	講義
10	脳脊髄液の検査			5	講義
11	穿刺液（関節液・胸水・腹水・心嚢液）検査			7	講義
12	結石検査、CAPD 廃液検査、羊水検査			8	講義
13	精液検査			9	講義
14	胃液、十二指腸液、喀痰の検査			10	講義
15	その他の検査、まとめ			1-10	講義
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)	臨床検査総論	伊藤 機一、松尾 収二 他	医学書院	2013	
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 定期試験（90％）、小テスト（10％）			【履修上の留意点】 臨床検査技術に関する基本的な知識を習得するので、確実に理解するように努めること。		